
俺たちは残念慈悲部

皆野碎負

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺たちは残念慈悲部

【Nコード】

N26240

【作者名】

皆野碎負

【あらすじ】

成績そこそこ。運動神経そこそこ。友達もそこそこいる。高校生としてはなかなか充実した毎日を送っている（つもり）だった。

そんなある日の放課後――下駄箱から靴を取り出し、いざ帰ろうとしていた時の事。同級のどんでもなく美人な少女に呼び止められた。

「貴様。慈悲部に入れ」

「……………はい？」

半ば無理矢理入部させられた『慈悲部』。
そこから始まる波乱万丈なライフ。何故か残念な子ばかり集まって
しまつて——本当にもううんざりです。

慈悲部の慈悲部による残念な日常

——俺たちは、一体何をしているのだろうか。

俺たちは何のために動いているのだろうか。

そんな事を思うのは日常茶飯事だった。

まあいくら探しても結局答えは見つからないに落ち着くのだが。

日曜日。本来なら家で過ごしているこの日……。

雲一つない青空の下、俺たちは田植えに勤しんでいた。

「ぶあっ！？ 何すんじゃクソツタレ！！ 泥かけんな汚ねえだろ
が消えろ死ねアバズレが！！」

「ははっ、泥が冷たくて気持ち良いだろ泥人間。あ、間違った、人間泥。泥語は人間に通じんぞ。因みにわざとだ」

「くんのやろお……！！」

可愛い顔が泥で台無しの不憫な美少女——サギハラ マナミ鷺原真波。全身緑のジャージに身を包み、怒濤の勢いで罵倒する。

対して真波の反撃をもつともしない切り返しを繰り返す黒い長髪の美少女——内ヶ咲桔梗。ダイガサキ キキヨウ根っからのSで、俺が田植えをはじめとする様々な活動をする羽目になった全ての元凶である。

「おいお前ら、こんな時ぐらい仲良くしろよ……。て言うか働けよ」

「「あゝあゝ？」」

「な、何でもないです」

この2人が争いを始めると、部員の誰一人すら止める事が出来ない。

「相変わらずですね……桔梗先輩と真波先輩」

「ああ：アホだな。どっちも頭良いけど」

部員の一人——朝霞雫アサカ シズクと共に呆れていると、ひょっこりと隣に現れた五反田忍ゴタンダ シノブ。こいつも部員の一人だ。

「理生先輩。止めないのですか？」

「：俺で止められると思う？」

「理生先輩なら……あるいはと」

そうだと良いんだがな。

戦闘を繰り広げている2人を余所に黙々と作業を続ける五反田時雨シグレを見て、ああ、偉いなあと感心する。忍とは双子の妹であり、とてもなく可愛らしい少女だ。

三戸谷理生。内ヶ咲桔梗。鷺原真波。朝霞雫。五反田忍。五反田時雨。部員六人顧問一人の計七人で活動をするその名は——『慈悲部』である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2624o/>

俺たちは残念慈悲部

2010年10月11日22時40分発行